



水戸喜世子さんを囲んで
放射線の学習会
内部被ばくってなあに

—水戸喜世子さんを講師に、放射線被害を詳しく学習します—

日時： 6月26日(水) 18:00～21:00

会場費:500円

場所: JR 高槻駅前クロスパル4F 第4会議室

☆色々な質問をだしあって放射線被ばくの理解を深めあいましょう。

☆文科省副読本の中身について、みんなで読みあい話合いましょう。

文部科学省は2018年10月放射線副読本を改訂し、全国の小・中学校、高校に配布しました。あまりの内容のひどさに茨木市教育委員会は配布を棚上げし、滋賀県野洲市、京都市等多くの市町村が配布を留保しています。(高槻市は配布)

副読本の書き出しは「放射線は、私たちの身の回りに日常的に存在しており、放射線を受ける量はゼロにすることはできません。」最後は「この副読本で学んだ事を振り返りながら、災害を乗り越えて次代の社会を形成するために克服すべき課題について家庭で話合ってみましょう。」と、あたかも原発事故は終息したかのような内容です。今福島では子どもたちの健康被害が増加の一途をたどっています。甲状腺ガン患者数は年々増えていっています。だから今こそ放射線被害について学習し、子どもたちに間違った安全神話をあたえるのではなく、正しい情報と知識を伝えていきましょう。



学習会連絡先：人権平和高槻市民交流会アス・ネット

カフェ ぽお～072-668-5415